

5年に1度行われる祭りに、盛装して参加するペイワンの母と娘たち  
＝アイヌとの写真以外どれも台湾、筆者提供



# 華やかな民族衣装が特徴的



変わらない生活を送るようになつたパイワンにどつて、もの作りの伝統は、いまの時代に民族らしさを發揮する大切な要素です。伝統を重んじながら、あら新たな作活動に挑戦する若い世代も増えてきました。木彫りや衣服だけではなく、かつては外部から取り入れるだけであつたガラスビーズを制作するようになつたことも、その一つでしよう。

パインは、台湾で大  
多さを占める漢族と関わ  
る機会も多いです。外部  
のものや技術を取り入  
れ、自分たちでも木彫り  
品、織物、刺しゅうの制  
作技術を発展させてきま  
した。刺しゅうやビーズ  
で衣装にあしらわれる文  
様には、伝統的な信仰の  
対象である太陽神や  
士、祖先の身代わりと考  
えられてきたヒャッポダ  
という猛毒をもつたヘビ  
族衣装を作つて着るの  
は、他の原住民族にはあ  
まり見られません。

台湾には「台灣原住民」族」とよばれる先住民族がいます。「原住民族」とはもともと住んできた民族という意味。台灣の総人口2350万人のうち、原住民族は2~3%を占めます。

パイワンは台湾の南部から南東部に暮らしてき  
た人約9万9千人の原住民族の一つのグル  
ープ。イノシシやシカなど  
の狩猟、アワの焼畑栽培  
やサトイモ栽培などの農耕、  
河川での漁労で生計

バイワーンの伝統社会は貴族と協力して人々の意見をまとめ、外部との交渉を行い、困っている人を助けることを主な役割化されています。首長は貴族、平民に階層化されていました。首長は

中国語が公用語とされ  
る現でもパイン語が  
若い世代にも話されてい  
ます。また、日本が台灣  
を統治していた時代（1  
895～1945年）に  
学んだ日本語を話す高齢  
者もいます。

## あら うさくかつどう 新たな創作活動

# 先住民族を知ろう

のばしあつし  
ぶん・野林厚志  
こくりつみんぞくがくはくぶつかんきょうじゅ  
(国立民族学博物館教授)

パイワン



パイワンのあいさつ

ナスリヴァッ・スン

(元気ですか)

【国立民族学博物館】大阪府吹田市にある博物館・研究所。さまざまな民族の衣服や楽器、工芸品などの資料を展示している。文献も含め収蔵資料は100万点以上。台湾原住民の映像作家による民族誌映画が11月12、13日に同館で上映。